

今後10年間で目指す仙台の教育の姿

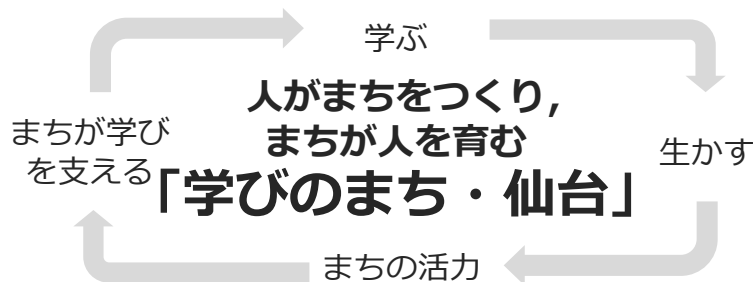
時代の変化を受けとめ、  
未来を切り開いていく力

(今後必要な力, 育みたい力)

源となる  
4つの力

- 自らを認め自らを信じる力
- 市民として主体的社会にかかわり共に生きる力
- 自ら学び自ら考える力
- チャレンジする行動力

(4つの力を育むために目指す教育の姿)

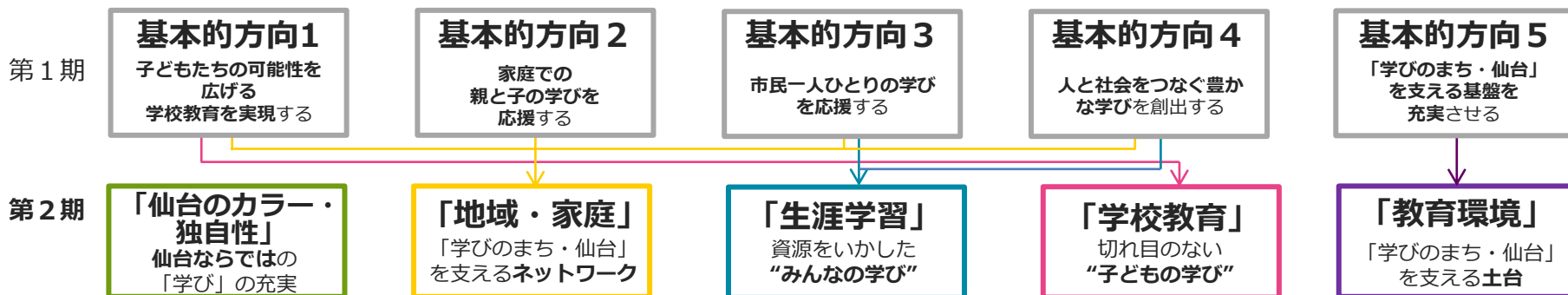


「学びのまち・  
仙台」を  
築くための  
3つの目標

- 学校・家庭・地域社会の総ぐるみによる子どもの教育が展開されている
- 自らのニーズに応じ、様々な機会・場所で自発的に学び続けることのできる環境が整っている
- 楽しさや生きがいを実感しながら学びの成果を社会の中で発揮できる仕組みが形づくられている

第2期計画策定の方向性・考え方

- 「10年間で目指す仙台の教育の姿」を達成するべく、第1期計画の「5年間の取組の基本的方向」に掲げられた施策や事業をベースとして、以下の5つのキーワードに基づき再編・修正・追加を行う。
- 第1期計画期間内に生じた新たな課題や環境の変化、また、これまで積み重ねられてきた仙台ならではの教育の素地をさらに拡充するべく、仙台のカラーや独自性を示す新たな枠組みを設定し、後期5年間で重点的に取り組む。
- 「教育の振興に関する施策の大綱」に示された基本方針を踏まえるとともに、国における教育施策の方向性も見据え策定する。



# 「仙台のカラー・独自性」

「仙台ならではの学び」や「仙台の強みをいかした教育」  
「これまでの課題を教訓とした取組み」など、新たな視点による方向性

## ■ 検討委員会における主な意見

- ・ 学校支援地域本部のさらなる充実
- ・ 深刻ないじめ・不登校に対する継続的な支援
- ・ 震災後の児童の心・体調のケア
- ・ 仙台版防災教育の継続

## 仙台ならではの「学び」の充実

- 独自の進化を遂げる学校支援地域本部のさらなる充実，担い手の育成
- 心と命を守り育む教育の推進  
(心の健康教育・命を大切にする教育)
- 震災後の中長期的な心のケアの継続
- 防災教育の浸透・震災を風化させない取組み
- アートを通して地域資源を再発掘し、地域人材を育成する取組み



# 「地域・家庭」

学校を中心とした地域・家庭が連携・協働し、共に地域の学びと子どもの成長を支える方向性

## ■ 検討委員会における主な意見

- ・ 学校支援地域本部のさらなる充実
- ・ 親子がふれあう時間の充実
- ・ 家庭，地域の教育力の低下
- ・ 家庭生活・家庭環境の変化への対応，子どもの居場所の確保
- ・ 学びを支える人材の充実
- ・ 保護者の相談支援体制の充実

## 「学びのまち・仙台」を支えるネットワーク

- 地域・家庭と連携した「学校における課題」の解決
- 豊かな地域資源を活かした学校における学びの提供
- 学校・社会教育施設を地域の学びの場として活用促進
- 地域を支える“人づくり”とともに“地域づくり”への貢献
- “親子ふれあい”の場づくりと“家庭教育”の気づきの場

(参考：第1期計画の施策の方向)

- 1-(1) 地域とともに歩む学校づくり〔学校支援地域本部・協働型学校評価〕
- 2-(1) 親が学ぶ機会の充実〔子育て講座の実施〕
- 2-(2) 基本的な生活習慣づくり〔親子食育講座の実施〕
- 2-(3) 親子と一緒に学びふれあいを深める機会の充実〔家庭学習ノート仙台〕
- 2-(4) 家庭教育を応援する地域づくり〔託児ボランティア養成〕
- 2-(5) 子どもの教育に関する相談支援〔スクールカウンセラー等による保護者支援〕
- 3-(4) 地域スポーツ活動の充実〔学校体育施設開放〕
- 3-(8) 多様な連携による多彩な学びの創出〔SMMA, 楽学プロジェクト, 社会学級〕
- 4-(1) 多世代のつながりや様々な体験を通じた学びの充実  
〔市民センター事業(地域社会教育推進事業)〕
- 4-(2) 身近な学校を活用した地域の学びの輪の創出〔学校図書室等開放〕
- 4-(3) 子どもの育ちを支える地域づくり  
〔放課後子ども教室, 学びのコミュニティづくり推進事業〕
- 4-(4) まちづくりにつながる社会教育の推進〔住民参画型・問題解決型学習推進事業〕



# 「生涯学習」

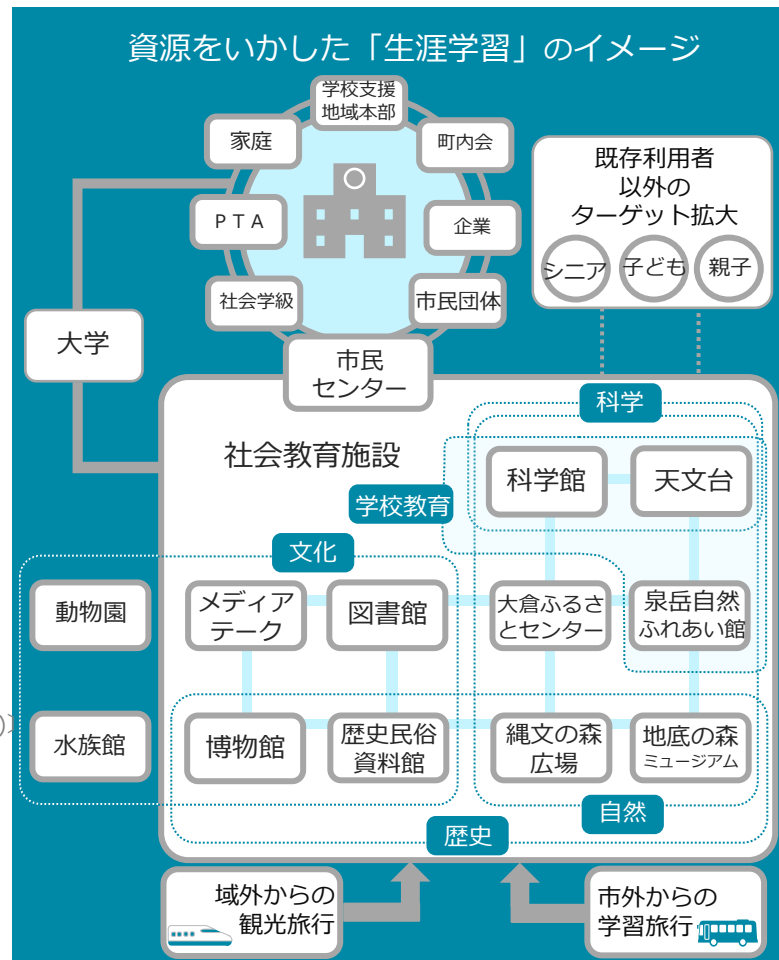
市民一人ひとりの学び，人と社会をつなぐ豊かな学びを広げ，すべての市民が生き生きと仙台に暮らす生涯学習に関する方向性

## 資源をいかした“みんなの学び”

- 誰もが仙台に住みたい，住み続けたいと思える学びの機会にあふれた魅力あるまち
- 市民一人ひとりのライフステージに応じた学びと多様な連携による学びのネットワークづくり
- バラエティ豊かな社会教育施設の特色を活かした学びの提供
- 豊かな自然や歴史，多くの大学など多様な学びの資源の活用・魅力の発信

(参考：第1期計画の施策の方向)

- 3-(2) 読書活動の推進〔子どもの読書活動の推進〕
- 3-(3) 文化・芸術に親しみ活動する機会の充実〔アートメディア利用による市民力育成〕
- 3-(4) 地域スポーツ活動の充実〔市民センター事業(スポーツ系講座)〕
- 3-(5) 仙台の歴史と文化の継承と発信
- 3-(6) 現代社会の課題について学ぶ機会を広げる〔市民センター事業(現代的課題講座)〕
- 3-(7) 学び直しや新たなチャレンジへの支援〔市民センター事業(高等学校開放講座)〕
- 3-(8) 多様な連携による多彩な学びの充実〔SMMA, 歴ネットサイエンススクール, 楽学プロジェクト, 社会学級, 科学館・天文台学習〕
- 4-(4) まちづくりにつながる社会教育の推進〔住民参画型・問題解決型学習推進事業〕
- 5-(2) 学びを支える人材の育成〔社会教育施設ボランティア〕



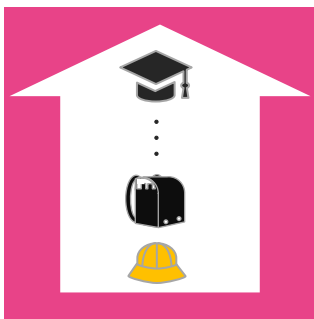
# 「学校教育」

幼児期から切れ目なく知・徳・体をバランスよく身に付け、社会を生き抜く力、自ら学びに向かう力を育み、多様な個性が生かされる学校教育に関する方向性

## ■ 検討委員会における主な意見

- ・ ICT教育の充実
- ・ 小学校英語教育への対応
- ・ 幼保・小連携の推進
- ・ 小学校における体育専門教員の配置
- ・ 運動能力向上（骨折率）・食育等生活習慣の定着（肥満率、睡眠）
- ・ いじめ不登校対策の充実
- ・ 震災後の中長期的な心のケア
- ・ 犯罪被害・非行防止対策の充実、危機管理能力・規範意識の向上
- ・ 自己肯定感・自己有用感の醸成
- ・ 自分づくり教育のさらなる推進
- ・ 「社会に開かれた教育課程」の実現
- ・ 防災教育の充実
- ・ 特別支援教育（インクルーシブ教育等）の推進
- ・ 外国人児童生徒への対応
- ・ 食物アレルギー対応食提供の充実
- ・ 郷土愛・帰属意識を高める取り組み

## 切れ目のない“子どもの学び”



- 幼児期からの“切れ目のない教育”（特に幼保・小・中連携）
- 社会を生き抜く力を育む「たくましく生きる力」の育成
- 「知」「徳」「体」バランスのとれた育ち
- 社会と連携・協働し、未来の創り手となるための資質・能力の育成（「社会に開かれた教育課程」の実現）
- 特別なニーズに対応した教育の充実



（参考：第1期計画の施策の方向）

- 1-(2) 確かな学力の育成〔標準学力・生活・学習調査，教科指導エキスパート派遣，幼保・小連携，スタートカリキュラムの実施，小1生活・学習サポーターの配置，中1ソフトランディングプログラム，小中連携推進〕
- 1-(3) 豊かな心の育成（道徳教育の推進，スクールカウンセラー，震災に伴う児童生徒の心のケア，いじめ対策推進，スクールソーシャルワーカー活用，不登校児童生徒支援（適応指導・サポート体制））
- 1-(4) 健やかな体の育成（児童生徒の体力・運動能力向上推進，学校における食育の推進）
- 1-(5) 仙台自分づくり教育の推進〔「たくましく生きる力」育成プログラム，自分づくり教育〕
- 1-(6) 特別支援教育の推進〔就学支援推進事業，特別支援学級指導支援員・特別支援教育指導補助員の配置〕
- 1-(8) 魅力と活力ある高校教育の推進〔特色ある高校づくり〕
- 3-(6) 現代社会の課題について学ぶ機会を広げる〔福祉教育の推進，防災教育の推進〕
- 4-(5) 学びの成果を生かす仕組みづくり〔児童生徒による故郷復興プロジェクト〕

# 「教育環境」

教職員がこれまで以上に子どもたちに向き合える体制づくりを進め、学校・社会教育施設やICT環境を整備し、学びのセーフティネットを充実させる、教育環境に関する方向性

## ■ 検討委員会における主な意見

- ・ 教職員の負担軽減の取組み
- ・ 即戦力となる教員育成
- ・ 学校や社会教育施設の長寿命化や適正な保全・更新
- ・ 避難所における情報拠点整備
- ・ 学びを支える人材の充実
- ・ ICT環境の整備（タブレットPC配備等）

## 「学びのまち・仙台」を支える土台

- 教職員の負担軽減・多忙化解消による子どもたちに向き合える体制づくりの充実・強化
- 県費負担教職員の権限移譲を契機とした「即戦力となる教員」の採用・育成
- 「教育のプロフェッショナル」として教育課題に対応する力量の向上と使命感・責任感を持った教員の育成
- 学校・社会教育施設の長寿命化・適正な保全・更新
- ICT環境の整備
- 教育を受ける機会の確保など学びのセーフティネットの充実

（参考：第1期計画の施策の方向）

- 1-(7) 教職員が子どもに向き合える体制づくりと力量の向上  
〔学校間業務連携、校務支援システム導入、教員の授業力向上研修、いきいき教員づくり研修〕
- 3-(1) 社会教育施設の機能の充実〔施設運営管理〕
- 5-(2) 学びを支える人材の育成〔社会教育施設ボランティア育成、社会教育施設職員研修、嘱託社会教育主事〕
- 5-(3) 学びの環境の充実〔学校教育施設・社会教育施設整備・改修、ICT環境整備〕
- 5-(4) 教育機会の均等の確保〔経済的支援、外国籍市民等講座〕

